

令和4年度 測量士試験 問題と解答 午前 No28 (応用測量)

<R04-No28 : 応用測量 (河川) : 問題>

次の a～e の文は、公共測量における河川測量について述べたものである。 ～ に入る語句又は数値の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

- a. 距離標はあらかじめ地形図上で位置を選定し、その座標値に基づいて、近傍の 等から放射法等により設置するものとする。
- b. 定期縦断測量において、縦断面図データを図紙に出力する場合は、横の縮尺は1,000 分の1から 分の1まで、縦の縮尺は100 分の1 から200 分の1 までを標準とする。
- c. 定期横断測量において、横断面図データを図紙に出力する場合は、横の縮尺は100 分の1 から 分の1まで、縦の縮尺は100 分の1 から200 分の1 までを標準とする。
- d. 水準基標の標高を定める水準基標測量で使用する観測機器は、1 級レベル又は2 級レベル及び である。
- e. 水深の測定は、 を用いて行う。ただし、水深が浅い場合は、ロッド又はレッドを用い直接測定により行う。また、航空レーザ測深機による水底の測定は、緑波長のレーザ光により行う。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1.	3級基準点	100,000	1,000	1級標尺	音響測深機
2.	3級基準点	10,000	10,000	2級標尺	音響測深機
3.	水準基標	10,000	10,000	2級標尺	電波式水位計
4.	水準基標	100,000	1,000	2級標尺	音響測深機
5.	3級基準点	100,000	10,000	1級標尺	電波式水位計